

# どうする？わたしたちの修学旅行

～思考力を伸ばし、広い視野で学ぶ～

令和2年8月6日



大阪府高槻市にある関西大学初等部では、総合的な学習の時間を通して、国際理解学習を軸に、社会に参加・貢献する態度を育成することを目指しています。そのため、各年次で、対象国・地域を設定して社会や文化のあり方を調査したり、附属高校や大学で学ぶ留学生と交流したり、テレビ会議で現地の方と交流したりする等、異文化交流に取り組んでいます。また、第1学年から英語コミュニケーション力を育み、オーストラリアへの修学旅行（1週間）ではホームステイも設定されています。

さて、この学校では、感染症の拡大状況を踏まえながら、自分たちの修学旅行を見直す中で、どのような学びを作り出しているのでしょうか？

## 関西大学初等部 第6学年「(コロナ禍で) どうする？わたしたちの修学旅行」 実践：古本 温久 教諭

※当该校では、授業の導入で「どのように考えることが大切か」のルーブリックを設定・共有して、学習の様々な場面で活用し、「考える力」を育成している。

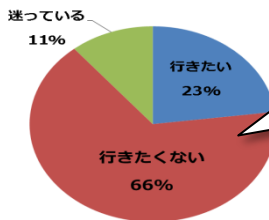
課題設定

### 1 分散登校中の学校生活を、PMI チャートを使って振り返ろう

- 思考ツール（PMI チャート）を活用し、個人の考えをまとめる。
- 自分の意見を取り入れてほしい場面をランキングで発表する。**〈1位 修学旅行・2位 外で遊ぶこと・3位 給食〉**

参考：「シンキングツール」 著者：黒上晴夫・小島亜理恵・泰山裕 [http://ks-lab.net/haruo/thinking\\_tool/short.pdf](http://ks-lab.net/haruo/thinking_tool/short.pdf)

### 2 「修学旅行でオーストラリアに行くかどうかの決断は、6月中！！」【課題解決の期限を設定】



#### 「オーストラリアに行きたいですか？」

「行きたい」思う児童もいる中、新型コロナウイルス感染症に対する不安を抱く児童が多いと言えます。児童からも「1つの情報からなので正確ではないけど、オーストラリアの感染者は〇〇名、死者〇〇名のように。」等の発言があり、児童の迷いはさらに増しました。結論を出すためには、正確な情報を収集し、整理・分析することが必要に、児童自らが気付きました。

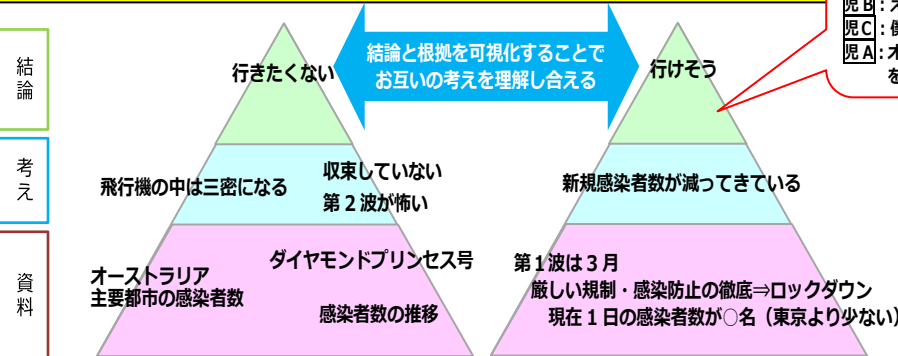
ポイントを  
示しています



「情報の整理・分析」に悩むことはありませんか？  
本実践では、自分の考えの根拠となる資料やデータを階層的に配置し、その関連性を分析する思考ツールを活用しています。課題や学習活動に応じた思考ツールを選択したことで、「意見を可視化し共有しやすい」「学習の振り返りや指導の改善に活用できる」等の利点が生まれています。

情報の収集

### 3 オーストラリアの現状に基づいて、自分の意見をピラミッドチャートにまとめよう

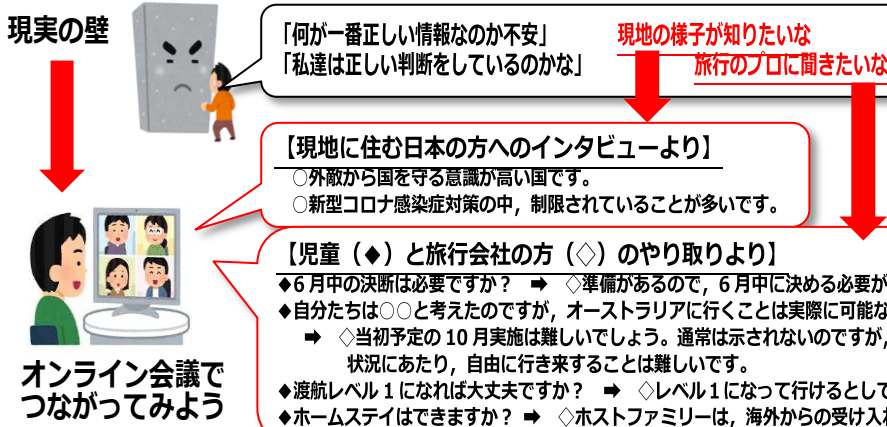


【「行けそう」派の中の交流より】

- 児A：今、永住者以外は入国禁止となっています。
- 児B：え、ホントに？！行けないの？
- 児C：僕のチャートを見て！日本に比べると新規感染者が少ないよ。
- 児A：オーストラリアは9月まで生活用品以外の店は営業禁止。対応を強化しているので、9月以降は状況が落ち着くと思います。

整理・分析

### 4 「オンライン会議」を活用して、現地の方や旅行会社の方に質問をしよう



「他に解決できる方法があるのでは」といった意見に対して、自分たちの考えをより確かなものにするため、実社会・実生活で課題に関わっている方から学ぶことが効果的です。

オンラインを活用することで、遠隔地の方から、直接必要な情報を収集したり、意見交流をしたりすることができます。顔を見ながらつなげると、その場で感じた疑問をぶつけて、より「臨場感」のある情報がつかめますね。

まとめ・表現

### 【現在進行中】その後の学びで「沖縄に変更」古本教諭より

オーストラリアの修学旅行は中止となりました。子供達の意見を聞かず大人だけで判断してしまうのではなく、子供達なりに様々な方法を用いて情報を集め、検討したことで、残念な決断になりましたが、子供達は納得することができました。舞台を沖縄に移して、学校として初めての沖縄の修学旅行を自分たちで創っています。またコロナも収束していない中で、どのように感染予防をしながら多くのことを学べる修学旅行にしていけるのか、それは修学旅行という特別なイベントの時だけに限らず、普段からの生活の積み重ねによって実現されています。今回の学びで「自分たちで生活を創っていくという意欲や責任ある態度」が身につきました。また、よりよく生活するためには、現状を分析したり、情報を集めて比較したり、多面的に検討したりする情報収集力、分析力、さらに、根拠（情報）や自分の意見を明らかにして発信したりすることの大切さを学びました。

「自分たちで解決できること・できないこと」を教師や関係のある方等の力を借りながら、子供達は真剣に納得解や最適解を得ようとして学びを楽しんでいます。各学校においても、学びを通して新たな知識や概念が形成していくことを児童が実感し、「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動する力」が発揮されている姿を期待しています。

